

小学1年 体育「体ほぐしの運動遊び」

ねらい

手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりするとともに、体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊びを工夫し、考えたことを友達に伝えることができる。

学習展開（3時間）

- ①運動遊びに進んで取り組み、きまりを守って誰とも仲良く運動することができる。
- ②リラックスしたり、のびのびとしたりする動きをしたりしながら、体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに考えたことを友達につたえることができる。
- ③友達のよい動きを見つけたり、工夫したりした楽しい遊び方を言葉で表現して伝え、友達と関わり合いながら伝承遊びや集団遊びをすることができる。

指導のポイント

- ・「おしくらまんじゅう」の大型絵本の読み聞かせを行い、活動のイメージを持たせた。
- ・絵本に出てくる言葉から、体の動きをイメージすることで、いろいろな動きを考えることができるようにした。
- ・イメージした動きを絵本の読み聞かせに合わせて行うことで、視覚的にイメージをしながら動きを楽しむことができるようにした。
- ・読み聞かせの際には、出てきた言葉を言いながら動くことで、絵本とのつながりを意識させた。
- ・最後に「おしくらまんじゅう」の伝承遊びを行い、絵本から伝承遊びへの活動へとつながるようにした。



学校図書館との関わり

- ・図書ボランティアの読み聞かせがきっかけとなった。体育の「体づくり運動」にある伝承遊びに「おしくらまんじゅう」があり、絵本の読み聞かせを体育の授業とつなげた。
- ・市立図書館から大型絵本を借りた。
- ・学校司書と担任とが連携しながら定期的に読み聞かせを行い、絵本への興味関心が高まった。
- ・絵本に親しみを持つことで、毎日の読書活動の意欲付けにつながった。